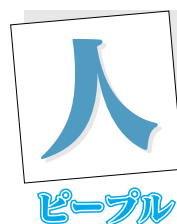


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

「全国1位」に驚きました



下水道ポスターで大臣賞
青木 理紗さん(15) 駒形町

先月三十日に都内のホテルで行われた表彰式において「下水道いろいろコンクール」絵画・ポスター部門中学生の部で国土交通大臣賞を受賞。全国から寄せられた二千点の中から選ばれた最高賞だ。

「昨年の夏休みに中学の課題で制作した作品です。今年三月になり、卒業間際に美術の先生から全国で一位になったことを聞いて、とてもびっくりしました。絵を描くことは小さいころから好きだったけれど、ポスターは中学生になってから始めたんです」
作品は青を基調とした、涼しそうなポスター。画面上部の黒く汚れた水が、下へいくにつれてだんだんと白い泡のきれいな水に描かれている。
「身近な生活から排出される下水が、きれいに浄化される様子を表現しました。ポスターは

絵の技術のうまい下手にあまり関係なく、自分のイメージを膨らませて、自由に表現できる点がいいですね」
現在、前橋女子高一年。授業では数学が得意だという。部活ではESS(英会話研究部)に入り、放課後週二回ほど、二時間の活動をしている。
「外国語指導助手の先生と英会話できるのが魅力です。部活のない日には、書道の塾へ通っています。将来はどのような方向に進むのか、まだ決めていませんが、今はいろんなことにチャレンジしたいな」と語る笑顔で、大きく羽ばたいてほしい。

実りあった

施設見学会

文京町四丁目・大島重男

五月二十日、妻とともに市有施設見学会に参加しました。降りしきる雨の中、市役所に集合。最初の見学地は大室公園です。六世紀に造られた古墳群では、巨大な岩を積み上げた石室に入り、大昔の土木技術の高さに驚



きました。古墳の周囲を歩くと、堀の周りに並んだ埴輪の群れが出迎えてくれました。隣の赤城型民家も見学。飯土井町から移築した典型的な養蚕農家です。
続いてバスであいのやまの湯へ移動。ゴミの最終処分場も見学しました。大量のゴミを瞬時に処理する設備を見て感心。今年の三月から使い始めたという巨大な埋め立て地も、十五年後は満杯になると聞き、ゴミの減量に協力せねばと実感しました。
雨も上がった午後、最終見学地の総合福祉会館で各施設を見て回り、帰宅の途につきました。天候には恵まれませんでしたが、実りの多い一日でした。



まちのニュース



川原町

釣りを通して 世代間交流

川原町では六月二十日、敷島公園釣り堀池で釣り大会を開催しました。釣り竿やバケツを手にした家族連れなど七十人が参加。マス・ヤマメ約五十匹を池に放した後、開始の合図で一斉に釣り糸を垂らします。ピチピチと生きのいい魚が釣り上げられると大きな歓声が。最後は池の水を抜いて、子どもたちがどろんこになりながら魚のつかみ捕りを楽しみました。
野上喜代二自治会長は、「未経験者も大歓迎。大人が子どもたちに餌の付け方や魚の扱い方を教えるなど、釣りを通じて世代間交流も深まります」と話していました。